

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
 会長 内藤 則義
 〒221-0825
 横浜市神奈川区反町3-17-2
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860
 編集 「身障かながわ」編集委員会
 編集委員長 新井 修身
 印刷 株式会社あんざい

- 県身体障害者連合会長新年あいさつ ①
- 第22回全国障害者スポーツ大会報告 ②
- 第67回神奈川県身体障害者福祉大会報告 ③
- 手話言語国際デーについて ③
- 県身連事業案内 ④
- さんぼみち ⑤
- NPO相模原市難聴者協会・土の会の活動ご報告 ⑤
- 私とスポーツ ⑥
- 県身連事業予定 ⑥
- 編集室から ⑥



《撮影場所：東京湾》 提供：藤森勝幸（相模原市）

神奈川県身体障害者連合会

会長 内藤 則義

謹んで新春のお喜びを申し上げます。皆様におかれましては、良いお正月をお迎えの事と存じます。

旧年中は、県身連の円滑な事業運営に地域団体を始め、関係機関の皆様の御協力、御支援をいただいております事に心から感謝申し上げます。

昨年、障害者差別解消法の改正によって、事業者における合理的配慮の提供が義務化されました。この改正により共生社会の実現へ向けた取り組みの推進に期待しております。

また、神奈川県が策定した「ともに生きる社会かながわ憲章」の精神により、障害を理由とする差別の禁止と合理的配慮が当たり前のこととして受け入れられるためにも、神奈川県差別禁止条例の制定に向けた取り組みが進められるとともに、災害時における障害者支援等に関して、大規模災害での教訓が生かされた支援対策や新型コロナウイルス等危険性の高い感染症の予防及び治療に関しても、障害特性に対応した対策が講じられることを強く訴えます。

県身連の運営につきましても、多くの課題を抱える中、役員一同で関係機関の御協力をいただきながら適切に推進するよう努力して参りますので、地域団体の皆様の一層の御協力をお願いいたします。

終わりに皆様のご発展とご多幸をお祈りいたしまして、新年の御挨拶といたします。

第22回全国障害者スポーツ大会

「いちご^{いちえ}一会とちぎ大会」結果報告

神奈川県・相模原市選手団

個人・団体競技ともに大活躍！！

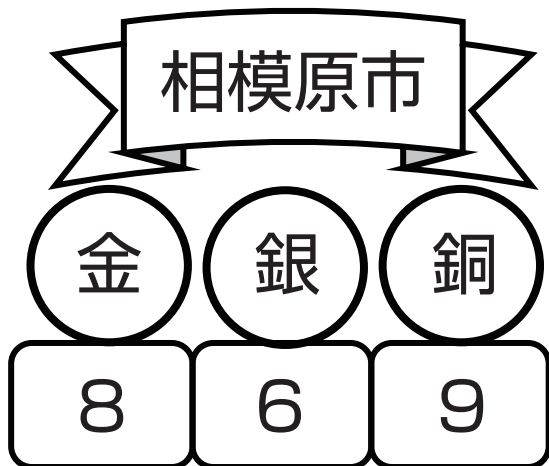
昨年十月二十九日から三十一日の三日間、栃木県の栃木県総合運動公園陸上競技場をメイン会場として、第二十二回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されました。神奈川県選手団は、選手六十六名、役員六十一名の総勢百二十七名で大会に挑みました。

二十九日に開会式が行われ神奈川県選手団代表十七名が元氣よく入場行進を行い、午後からは一日目の競技が始まりました。

三十一日に三日目の競技・閉会式で大会は幕を閉じ、個人競技では、練習会などの成果を存分に発揮し、大会新記録を含む金メダル二十八個、銀メダル十六個、銅メダル十七個の合計六十一個という輝かしい成績を収めました。団体競技では、グランドソフトボール（視覚障害者）が出場し、惜しくも準決勝で敗れてしまいました。銅メダルを獲得しました。

選手は、競技以外にも全国の選手・大会ボランティアの方たちとも交流を深め一生の思い出に残ったことと思います。

神奈川県・相模原市選手団のメダル獲得数は次のとおりです



第六十七回神奈川県身体障害者福祉大会開催

令和四年十月九日(日) 神奈川県身体障害者福祉大会がクアーズテック秦野カルチャーホールを会場に三〇〇余名の参加者が一同に会し盛大に開催されました。

午前中の式典では、主催者を代表して県身連内藤会長、神奈川県黒岩知事のあいさつ後、地元秦野市の高橋市長から歓迎のことばが



ありました。続いて、県知事及び県身連会長より受賞者に対し、表彰が行われ、次回開催地(相模原市)あいさつ、閉会のことばで無事大会を終了しました。

今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、午前の式典のみとして開催しました。

神奈川県知事表彰(敬称略)

○自立生活者

川鍋 敏雄(座間市)

中山 訓史(寒川町)

○自立支援功労者

石井 京子(横須賀市)

県身連会長表彰(敬称略)

○表彰

齋藤 信治(秦野市)

小澤 武男(秦野市)

中根 和子(秦野市)

○感謝状

中平 千鶴子(鎌倉市)

岡崎 徳子(鎌倉市)

中山 孝彦(秦野市)

村山 勲(海老名市)

手話言語国際デーについて

藤沢市 飯塚 晃子

毎年九月二十三日は、国連が制定した「手話言語の国際デー」です。皆さん、知っていますか？

また、九月二十三日は一九五一年に世界ろう連盟(WFD)が設立された日です。

手話言語の国際デーが制定されてから今年で五年目の今年、世界ろう連盟(WFD)の「ブルーライト・チャレンジ」に合わせ、全日本ろうあ連盟では「世界そして日本を青色に！〜いのちの輝き

手話言語に光を〜」チャレンジプロジェクト」として、全国の公共施設等を、ろうコミュニケーションの取組みにおけるシンボルカラーであるブルーにライトアップするよう働きかけています。

主催は公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会、NPO法人藤沢市聴覚障害者協会、県・市議員を構成に「手話言語の国際デー2023 びふじさわ実行委員会」を立ち上げました。藤沢市では江の島シーキャンドルと市役所本庁舎をブルーにライトアップし、シーキャ

ンドルサンセットテラスでイベントも開催される予定でしたが、雨天のために急遽、市役所に変更して開催しました。

イベントは、Deaf Hula(ろう者のフラダンス)、つるの剛士さん(ふじさわ観光親善大使)とHANDSIGNとSTUDIO BUZZ(相模原にあるダンススタジオBUZZ)は、手話歌とダンスを披露しました。観客と一緒に手話歌を歌ったり、盛り上がりました。

会場の大型スクリーンに映し出された江の島シーキャンドルが多く参加者たちのカウントダウンと共に午後6時にライトアップで青く照らし、大きな拍手が沸き起りました

市民、地域、社会が一つとなって「手話が言語である」ことへの認知を広めていきたいと思えます。



神奈川県身体障害者 ボウリング大会開催案内

令和五年度の神奈川県身体障害者ボウリング大会は、令和五年四月九日(日)に実施致します。

令和二年、三年と新型コロナウイルス

事業案内

ウィルス感染症拡大の影響により、大会を二年続けて中止としてきましたが、令和四年度は、三年越しとなる大会の開催を新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら行うことが出来ました。

新型コロナウィルス感染症感染が拡大する時期と落ち着く時期の波がある中で、オミクロン型対応のワクチンや新薬が開発され、コロナ前のような生活に戻るよう早く収束に向かう事を信じ、令和五年も大会を開催できるよう感染症対策を実施しながら準備して参りますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

★詳細につきましては、左記の通りです。

【期 日】

四月九日(日) 午後

【場 所】

湘南とうきゅうボウル

【申込方法】

お住まいの各市町村団体まで連絡をし、申込をお願いします。

【申込締切】

三月二四日(金) 必着

【参加費】

一人 一、〇〇〇円

※シューズのレンタルを希望される方は、シューズ代三五〇円を参加費と別途徴収いたします。

お問合せにつきましては、神奈川県身体障害者連合会までお願いいたします。

《県身連事務局》

TEL 〇四五(三二一) 八七三六

FAX 〇四五(三二六) 六八六〇

第十七回 県障害者スポーツ大会について

令和五年度の県障害者スポーツ大会は、次の日程で開催を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況によっては、日程を変更する可能性がございますが、万全の準備と感染症対策を行い、大会運営とめさせていただきます。

大会への参加心よりお待ちしております。申込につきましては、県身連事務局へお問い合わせください。

●陸上競技会(知的障害者)

期日 四月二十三日(日)

会場 県立スポーツセンター

●陸上競技会(身体障害者)

期日 五月十四日(日)

会場 県立スポーツセンター

●水泳競技会

期日 七月九日(日)

会場 さがみはらグリーンプール

●卓球競技会(精神障害者)

期日 令和六年一月十九日(金)

会場 県立スポーツセンター

●卓球・サウンドテニス競技会(身体・知的障害者)

期日 令和六年一月二十一日(日)

会場 県立スポーツセンター

●ボッチャ競技会

期日 令和六年二月二十三日(金)

会場 県立スポーツセンター

●県身連からのお知らせ

令和五年一月二十日(金)は、県障害者スポーツ大会卓球競技会(精神障害者対象)の為、事務所には職員が不在となります。

県立座間谷戸山公園

さんぽみち

座間市 新井 修身

本号では 県立座間 谷戸山公園（やとやま公園）を紹介し

ます。 県立座間谷戸山公園は、都市化の著しい神奈川県、県央地域にあつて、残された貴重な谷戸の自然環境保全に対し、地元からの強い要望を受け、「地域の歴史・文化を背景とした里山の貴重な緑や多彩な動植物を保全しながら自然観察が楽しめ、さらに里山の環境を体験できる公園」を目的とし、昭和六十三年に風致公園として都市計画決定がされました。

公園が計画された区域は縄文時代からの人の暮らしが営まれていた土地で、里山の風情が残され、まとまりのある樹林地やホテルも生息する湿原地から構成されており、良好な自然環境となつています。これらを保全し、植物や野鳥・昆虫などの自然とふれあい観察のできる「自然生態観察公園（アーバンエコロジーパーク）」として整備されています。なお、本公園は自然生態観察公園としては、全国に先駆けて整備されました。



また、この公園のもう一つの特徴として、運営会議の開催があります。

運営会議では、市民の自然保護団体や野鳥の会、自然観察指導員、大学生など、各方面のボランティアの方々を中心となつて、公園の活動方針を協議しており、この会議で協議された方針を基に、「落ち葉かきや池さらい等の里山保全活動」「四季折々の自然や野鳥を観察する自然観察活動」、さらには田植えから稲刈り、そして収穫までを市民参加で行い、収穫した餅米を使って餅つきを行う。「米作り収穫祭」など、恒例となつているイベントを協働して実施しています。

所在地 座間市入谷東一丁目

公園面積三十二・三ha

問い合わせ先 県立座間谷戸山

公園管理事務所パークセンター

TEL 〇四六二五七七八八

FAX 〇四六一二五七七八三

交通アクセス

小田急線座間駅東口下車徒歩十分

車でお越しの方は 国道

二四六号線 座間市西原交差点

(上り車線は左折し) 約五分

みんなの広場

NPO相模原市難聴者協会

土の会の活動のご報告

相模原市 土屋 和代

毎週土曜日の午前中、難聴者対象の手話学習会を開催しています。会員は難聴者、中途失聴者、サポーターの健聴者で構成していますが、今年から盲ろうの方が一名参加されました。少しは見えていて、補聴器や人工内耳を装着して少しは聞こえる方です。県からの手厚い情報保障があり、一緒に楽しく手話を勉強しています。難聴会員の皆さんは、目は今のところ晴眼で大丈夫なのですが、目にも何時、障害が生じるかもしれませんので他人事ではありません。また、耳が不自由な方とのコミ

ュニケーション方法については熟知していても、耳と目が不自由な方とのコミュニケーション方法については、殆ど分からない状態でした。

そのような状態でしたので迎えた側としてもいろいろ勉強になることも多く、良い機会となりました。更に嬉しいことに、全員が同じ仲間として自然に受け入れ、会のもとまりがさらに強くなったと感じています。

コロナ禍で通年行事の日帰りバス旅行や一般に開放した講演会等は開催出来ていませんが、昨年後半から少し感染者が減ってきたので、手話の勉強の他に手芸教室を開催しクラフトバンドを使用した籠作り、ペーパーバンドを使用した壁飾りなどを作成し、市の障害者作品展に展示しました。

年度末の三月には要約筆記サークルとの交流会を計画中で、ポッチャ大会を開催する予定です。無事に開催出来ますよう、コロナ感染が更に拡大しないことを願っています。

県身連事業予定

- <1月>
 - 8日(火) 《視力部》成人を祝う会並びに団体長会議・団体役員研修会(大和市渋谷学習センター)
 - 11日(水) 《肢体部》女性部研修会(伊豆潮風館)
 - 14日(土) 神奈川県障害者文化・芸術祭(伊勢原市民文化会館)
 - 17日(火) 《視力部》防災演習
 - 20日(金) 第16回神奈川県障害者スポーツ大会卓球競技会【精神障害者対象】(神奈川県立スポーツセンター)
 - 22日(日) 第16回神奈川県障害者スポーツ大会卓球・STT競技会(神奈川県立スポーツセンター)
 - 28日(土) 《視力部》第2回女性部運営委員会(二宮町町民センター)
 - <2月>
 - 8日(水) 障害者差別解消法講演会(藤沢市民会館)
 - 11日(土) 《視力部》第55回文化の集い・第41回女性の集い(寒川町)
 - 16日(木) 《肢体部》役員会(未定)
 - 19日(日) 第16回神奈川県障害者スポーツ大会ボッチャ競技会【身体障害者対象】(神奈川県立スポーツセンター)
 - 23日(木) 《視力部》ボウリング大会・若者交流会
 - <3月>
 - 4日(土) 関東ブロック神奈川県大会(藤沢市)
 - 5日(日) 特別全国障害者スポーツ大会水泳競技選手選考記録会(神奈川県立神奈川総合高等学校)
 - 7日(火) 社会参加推進協議会(神奈川県社会福祉センター)
 - 7日(火) 県身連理事会(神奈川県社会福祉センター)
 - 9日(木) 《肢体部》代議員会(海老名市総合福祉会館)
 - 11日(土) 《視力部》防災演習
 - 21日(火) 《視力部》無資格者撲滅キャンペーン
 - 23日(木) 県身連評議員会(かながわ県民センター)
 - 25日(土) 《視力部》職業部運営委員会
 - <4月>
 - 9日(日) AM 第17回神奈川県障害者スポーツ大会ボウリング競技会(湘南とうきゅうポウル)
 - 9日(日) PM 第17回神奈川県障害者スポーツ大会ボウリング大会(湘南とうきゅうポウル)
 - 9日(日) 第17回神奈川県障害者スポーツ大会アーチェリー競技会(県総合リハビリテーションセンター洋弓場)
 - 16日(日) 第17回神奈川県障害者スポーツ大会フライングディスク競技会(神奈川県立スポーツセンター)
 - 23日(日) 第17回神奈川県障害者スポーツ大会陸上競技会【知的障害者対象】(神奈川県立スポーツセンター)
- ※問い合わせ 電話：045-311-8736
FAX：045-316-6860
<http://kanagawa-kenshinren.or.jp>

初めての国体、自分の経験と成長

大和市 相原 城侍

私は今まで一泊二日でした。初めてのこと、五泊六日という長い時間、新しい環境について行けるのか、また荷物の整理が苦手な一人部屋で、自分一人で荷物をまとめられるか不安もあり、戦う気持ちや楽しみの気持ちもありました。私は、初めての大会で、神奈川県を選ばれました。なかなかできない経験なので、やれどとても思い出になりました。ホテルでは、最初の二日間は一泊二日、最初の二日間は一人部屋で物の出し入れに苦戦していま

したが、その後はルーティンや、自分の特徴が分かっていたので、大会では、競技の空き時間に広場やグッズを買ったり、チームの人と仲を深めたり、チームの応援をしました。競技時間が近づいてきたら気持ちを切り替え、準備に集中しました。コーチが私の競技時間や、何も言わなくても荷物を持ってきてくれたので、とても気持ちよく楽しめました。大会の結果は、二百メートルで三位、百メートルで五位、四百メートルリレー三位でした。この結果が出せたのは、家族、コーチ、チームメイト、仲間の支えだと思っています。悔しい思いもあ

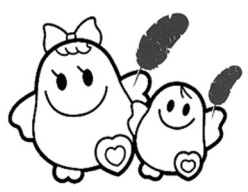
りませんが、次に切り替え、さらにレベルアップできるように頑張りたいと思います。私は生まれつき発達障害があり、初めてのことをやらなかったり、特に耳が敏感で人が多い所が苦手だったり、陸上のピストルの音も苦手でした。スポーツを始めたいきつかけは母が私に陸上部に入らないとゲームをやらせないと言われたことでした。続けていくと自信を持ちはじめ、タイムが急に上がりました。母は冗談で言ったつもりだと言っています。その言葉が無ければ、今日全国大会に出られません。陸上を始めても感謝しています。新しい挑戦、仲間の大切さを知りました。

編集室から

昨年はロシアによるウクライナ侵攻、北朝鮮の弾道ミサイル問題など不穏な年でした。今年こそ紛争の無い1年である事を強く望みます。次に私ごとですが、現在編集委員長を務めさせて頂いておりますが、これも編集委員の皆様・事務局のご支援御協力の賜物と深く感謝しております。今後とも宜しくお願い致します。

編集委員 新井 修身 (視力部)

※今後、身障かながわ1月号は、1日発行から15日発行に変更になります。ご了承ください。



この会報は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。